

特集陳列

# 東叡山寛永寺

Thematic Exhibition  
Toeizan Kan'eiji Temple

Wednesday, October 12 - Sunday, November 20, 2011

Room 16, Honkan, Tokyo National Museum

2011年10月12日(水)～11月20日(日) 東京国立博物館 本館16室



21 東都上野東叡山之図 玉川舟調筆 根本中堂前の賑わいを描く。二代喜多川歌麿にも同構図の作品があり、ランドマークとして知られていた。

東叡山寛永寺は、江戸城の鬼門を守るために徳川三代の将軍の帰依を受けた慈眼大師天海が寛永2年に創建し、時の年号「寛永」を寺号とすることを許されました。住職には出家した親王（法親王）が多く就任し、天台座主と日光山の住職をも兼ねて「輪王寺宮」と呼ばれました。上野の山全域に広大な寺地を占め、格式を誇りましたが、一方でこの地は、江戸の住民にとっての行楽地でもありました。幕末の彰義隊の戦いで本坊をはじめ多くの建物を焼失し、明治以降、境内の大半は公園として博物館・美術館・動物園などを含む市民の憩いの場となりましたが、寛永寺は天台の法灯を維持して今日に至っています。

この特集では江戸時代の寛永寺の創建と繁栄、名所としてのにぎわいなどを振り返ります。

Toeizan Kan'eiji temple was founded in 1625 (Kan'ei 2) by the Buddhist priest Tenkai, also known as Jigen Daishi (Grand Master), who served the early Tokugawa shoguns. The temple was permitted by the emperor to be named "Kan'ei", the name of the era in which it was founded. Successive chief priests were nominated from among Imperial princes, who were concurrently the chief priests of both Enryakuji and Nikkozan and were called "Rinnoji no Miya (Imperial Priest of Rinnoji)". The site of the temple spread over the whole of Ueno Hill and was also a popular destination for leisure for Edo residents. The temple lost most of its buildings due to the battle in Ueno at the time of the Meiji Restoration, and most of the site was turned into a public park including museums and a zoo, yet despite this Kan'eiji has upheld its religious mission of Tendai Buddhism up to the present day.

This exhibition looks back into the history of Kan'eiji, namely its founding, prosperity, and popularity in the Edo period.

## 慈眼大師天海

天海は陸奥国会津の生まれと伝えられますが、その前半生は明らかではありません。徳川家康の知遇を得て、比叡山の復興に携わるとともに、武蔵国川越の喜多院の住職となり、家康・秀忠・家光の三代の将軍に仕え、108歳の高齢で没しました。その間、家康の没後、日光山に東照宮を建て、家光の意を受けて寛永寺を創建するなど、幕府の鎮護に力を尽くし、没後に「慈眼大師」の号を贈られました。

天海は初めて日本国内での一切経の印刷・刊行を企図し、膨大な木製の活字を制作させました。すべての經典の刊行は天海没後になりましたが、「天海版一切経」と呼ばれ、我が国印刷文化史上、最も重要な業績の一つです。



明等衆縁所成  
名如實知行相  
般若波羅蜜多

23部分



天海版木活字  
家光の支持を受け、天海が制作させた木活字。26万個以上が現存する。

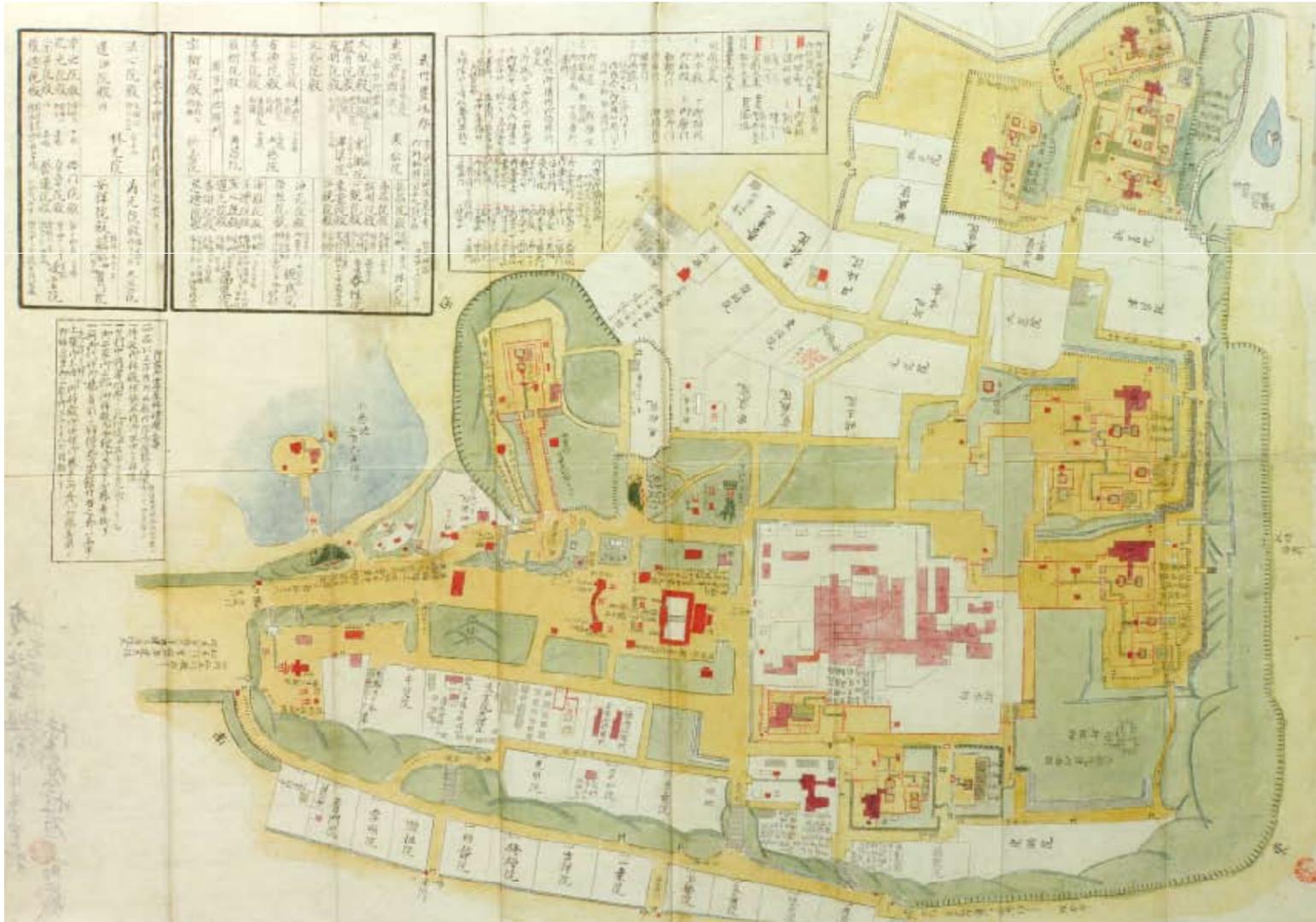
23 慈眼大師像

天海の肖像の背景に日光の諸堂社を描く。表具に天海版一切経と見られる版経を用いているのが珍しい。



3 慈眼大師像(模本)

家光は天海が没する直前に、狩野探幽に肖像を描かせたという。これは喜多院伝来の天海像の模本で、広く知られた天海の姿である。



15 上野山内図 左側が南（上野広小路側）、右側が北（鶯谷側）。下辺が現在の上野駅付近。中央の赤い口の字形の建物が根本中堂（現在の噴水付近）。その右手が本坊（現東京国立博物館）。

## 寛永寺と輪王寺宮

寛永寺は、京都を守る比叡山延暦寺にならって、山号を「東叡山」とし、寺号も創建時の年号を用いて「寛永寺」とすることを許されました。寺域は上野の山全体に及び、各種の堂塔も延暦寺に準じたものが建てられて、元禄11年（1698）に根本中堂が完成する頃までには、その寺観を整えました。寺院としての格式は高く、第三代以降、歴代の住職には幕末まで法親王（輪王寺宮）が就任し、天台座主と日光山（現在の輪王寺・東照宮・二荒山神社を含む）の住持をも兼帯したため「三山管領宮」とも称されました。



18 常憲大相国公事跡

常憲大相国は第五代将軍徳川綱吉没後の院号。その事跡を輪王寺宮公弁法親王が偲んだもの。

## 江戸庶民の行楽地

寛永寺境内は、早くから桜の美しさで知られ、後には飛鳥山と並ぶ江戸の桜の名所となりました。現在と同様に、春には多くの花見客でにぎわいましたが、境内への立ち入りは日の出る明け六つから日の沈む暮れ六つまでと定められており、夜桜を楽しむことはできませんでした。



20 上野山王台図 亜欧堂田善筆

山王台は現在の清水堂付近を指し、上野の山でも最も眺望のよい場所であった。

## 罹災と復興

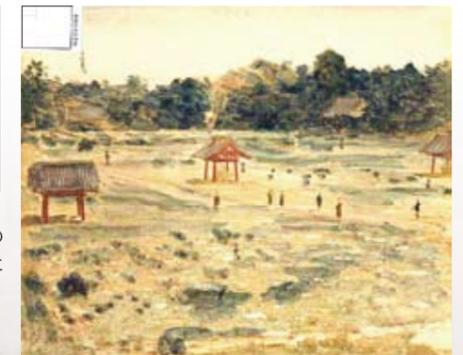
明治元年（1868）、上野は新政府軍と幕府を支持する彰義隊との戦いの場となり、寛永寺山内は、五重塔、清水堂、大仏殿などを残して、建物の大半が焼失しました。明治以降、境内地は上野公園となり、東側の子院があった地区に上野駅が設けられるなど、大きく変貌します。寛永寺は明治12年（1879）に川越喜多院の本地堂を現在地に移築して根本中堂とし、復興の途につきました。

現在の寛永寺輪王殿の門（重要文化財）は、焼失を免れた寛永寺本坊の表門で、本坊跡地に建てられた博物館の正門として長く利用されました。



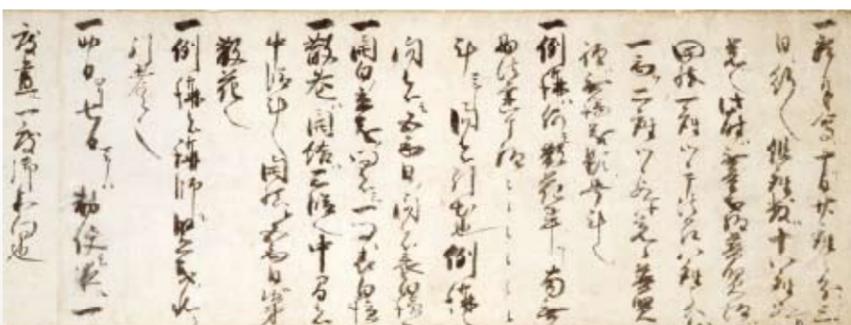
24 砲弾

新政府軍と彰義隊の戦いの際に飛び交った砲弾が木に刺さった状態で発見された。



22 寛永寺本坊跡

戦闘によって建物が焼失した寛永寺山内。



6 霜月会定書 天海筆

霜月会は天台大師智顛の忌日にちなんで11月に行なわれる重要な法会。天海は断絶していた霜月会を復興した。



5 東叡山寛永寺慈眼大師元三大師縁起

天海の直弟子であった胤海による天海の伝記。仮名交じり文に絵を交え、事跡をわかりやすく説く。

# 展示目録

指定 No.	名称 / Title	員数	作者等	年代・世紀	当館所蔵番号等	寄贈者名
1	東叡山寛永寺鬼瓦 Goblin-shaped Roof Tile from Toeizan Kan'eiji	1 個		江戸時代・17～19世紀 Edo period, 17-19c.	J-23971	
2	鬼瓦 Roof Tile	1 個		江戸時代・17～19世紀 Edo period, 17-19c.	J-24104	
3	慈眼大師像(模本) Image of Grand Master Jigen Daishi (Tenkai)	1 幅	森田亀太郎模 Copied by Morita Kametaro	大正～昭和時代・20世紀 Taisho-Showa period, 20c.	A-9762	
4	東叡山之図 Area Map of Toeizan	1 鋪		江戸時代・18世紀 Edo period, 18c.	P-10003	
5	東叡山寛永寺慈眼大師元三大師縁起 Biography of Grand Master Jigen Daishi	5 冊		江戸時代・寛政元年(1789) Edo period, dated 1789 (Kansei 1)	QB-4637	徳川宗敬氏
6	霜月会定書 Rule of November Memorial Service for Zhi-yi	1 卷	天海筆 By Tenkai	江戸時代・17世紀 Edo period, 17c.	B-1759	
7	上野東叡山寛永寺建築図 Architectural Plans of Toeizan Kan'eiji	11 点のうち		江戸時代・17世紀 Edo period, 17c.	P-2343	
8	東叡山新建瑠璃殿記 Record of Newly Built Main Hall of Toeizan	1 冊	公弁法親王著 By Imperial Priest Koben	江戸時代・元禄12年(1699) Edo period, dated 1699 (Genroku12)	QB-3809	徳川宗敬氏
9	東叡山御普請御借上金面附帳 Account Book for a Reconstruction Work of Toeizan	1 冊		江戸時代・宝暦7年(1757) Edo period, dated 1757 (Horeki 7)	QB-1478	徳川宗敬氏
10	東叡山記 Historical Record of Toeizan	1 冊		江戸時代・19世紀 Edo period, 19c.	QB-2900	徳川宗敬氏
11	東叡山事略 Brief Historical Record of Toeizan	1 冊		江戸時代・19世紀 Edo period, 19c.	QB-7368	徳川宗敬氏
12	東叡山年表 Chronicle of Toeizan	1 冊		江戸時代・安政4年(1857) Edo period, dated 1857 (Ansei 4)	QB-3805	徳川宗敬氏
◎ 13	天海版木活字 Wooden Printing Type, Tenkai Edition	1 箱		江戸時代・17世紀 Edo period, 17c.	寛永寺蔵	
14	上野中堂並御本坊張附記 Lists of Paintings on Walls and Screens in Kan'eiji	1 冊		明治時代・19世紀 Meiji period, 19c.	P-2517	
15	上野山内図 Map of Ueno Hill	1 鋪		江戸時代・18世紀 Edo period, 18c.	P-572	
16	東叡山達書並規則書留 Record of Notices and Rules in Toeizan	1 冊		江戸時代・19世紀 Edo period, 19c.	QB-7122	徳川宗敬氏
17	東叡山御成記 Record of Shogun's Visit to Toeizan	1 冊		江戸時代・寛政12年(1800) Edo period, dated 1800 (Kansei 12)	QB-7105	徳川宗敬氏
18	常憲大相国公事跡 Brief Biography of Shogun Tokugawa Tsunayoshi	1 卷	公弁法親王筆 By Imperial Priest Koben	江戸時代・宝永6年(1709) Edo period, dated 1709 (Hoei 6)	QB-10945	徳川宗敬氏
19	和歌短冊 Waka Poem	1 枚	公延法親王筆 By Imperial Priest Koen	江戸時代・18～19世紀 Edo period, 18-19c.	B-2384	豊島哲夫氏
20	上野山王台図 San-no-dai in Ueno Hill	1 枚	亜欧堂田善筆 By Aodo Denzen	江戸時代・19世紀 Edo period, 19c.	A-8587	橋本伝右衛門氏
21	東都上野東叡山之図 Toeizan in Ueno	1 枚	玉川舟調筆 By Tamagawa Shucho	江戸時代・18～19世紀 Edo period, 18-19c.	A-10569-5725	
22	寛永寺本坊跡 Ruins of Kan'eiji after the Battle of 1868	1 枚		明治時代・19世紀 Meiji period, 19c.	古写真 521	
23	慈眼大師像 Image of Grand Master Jigen Daishi (Tenkai)	1 幅		江戸～明治時代・19世紀 Edo-Meiji period, 19c.	A-9590	
24	砲弾 Cannonball Fired in the Battle of 1868 found in Ueno Park	1 個	台東区上野公園採集	明治時代・19世紀 Meiji period, 19c.	F-16530	加島平吉氏

◎は重要文化財

平成23年10月12日発行  
執筆:田良島 哲(東京国立博物館)  
翻訳:東京国立博物館国際交流室  
撮影:藤瀬雄輔(東京国立博物館)  
制作:野崎印刷紙業株式会社  
デザイン:小椋秀樹  
編集・発行:東京国立博物館  
©2011 東京国立博物館